

全員協議会会議録

- 1 日 時 平成28年9月2日(金)
9時00分開会 14時42分閉会
- 2 場 所 役場3階第2委員会室
町内一円
- 3 出席議員 鈴木孝寿・桜井崇裕・北村光明・高橋政悦・木村好孝・原 紀夫
口田邦男・奥秋康子・安田 薫・西山輝和
議長：加来良明
- 4 事務局 事務局長：佐藤秀美、係長：宇都宮学
- 5 説明員
- 6 議 件
(1) 台風の被害状況視察
- 7 会議録 別紙のとおり

加来議長：皆さんおはようございます。町全体が台風による被害を受けている状況の中、急遽お集まりいただきありがとうございます。このたびの台風 10 号により、本町においても行方不明者が 2 名発生しており、被害に遭われた方々におかれましては心よりお見舞い申し上げます。本日は、災害の状況を把握し、今後の議会の取り組みに役立てていけるよう、被害状況を視察するためにお集まりいただいた。

避難所に詰めて一睡もされていない方や近所の世話をしている町内会長、住宅が全壊している町民の方もおられる。議員もしっかり現状を把握するために、できるだけ多くの場所を見て歩きたいと思うので、よろしくご協力をお願いします。

佐藤議員については、消防団長として災害対応で待機状態のため欠席。中島議員は水道復旧について経験を生かしてのボランティアという形で取り組んでいるので欠席となっている。

町の行事はこれからしばらく延期や中止になると思う。開町記念日も中止の方向で検討しているようである。議会への対応としては、災害状況を把握した段階で、議員の皆さんにお集まりいただき、全員協議会の中で説明したいということで町は考えているようである。また、その時にご案内するのでよろしく願います。定例会については、昨日、議運の委員長と執行側と協議した。災害対応を最優先にして、状況を見ながら開会に向けて、準備をしていくとのことである。一応 2 週間程度、開会日を延ばす方向で考えている。災害復旧の進捗状況によりもう少しずれていくかもしれないが、皆さんにご協力をお願いします。現状すぐに採決をしなければならない案件もないようなので、復旧作業を最優先にしてもらうことにご理解いただきたい。

(1) 台風の被害状況視察

加来議長：被害の現状について詳しく把握できてはいない部分もあるが、被害状況と本日の日程について事務局から説明する。

佐藤局長：お手元に資料を配布しているが、台風 10 号による避難・被害等の状況について、9 月 2 日現在の資料を配付している。避難指示は、ペケレベツ川の流域の公栄、清見、西文化、西清水の 350 世帯、722 人が避難指示の発令がされている。避難勧告は、清水地区は、有明 171 世帯、351 人、御影地区は、御影中央 38 世帯、99 人、千歳、旭山 18 世帯、41 人となっている。避難者の状況（7 時現在）については、中央公民館 24 人、保健福祉センター 54 人、御影公民館 20 人の合計 98 人が避難している。被害状況について、人的被害は、清見橋からの車の転落で 1 人、旭山地区の剣山の別荘地帯で 1 人が行方不明となっている。住宅被害の状況については、調査が進んでいないが、現時点で行政側が把握している情報として、全壊が 6 戸、半壊が 2 戸、床上浸水 2 戸となっている。

今日の前定は、清水市街のペケレベツ川の状況をまず見てから、農村部の状況を確認したい。最後に御影、旭山地区を回ることができればと考えている。各地域の被害状況を把握している議員に案内いただきたいと考えている。

加来議長：局長から説明があったが、ほかに見ておいたほうがよい場所があれば言っていたきたい。

原議員：第 11 号道路沿いにある四国八十八ヶ所霊場あたりの下に橋があり通行止めになっている。その橋から川を眺めた限り、上流の護岸は崩れていないように見えるが下流は非常に大きな被災地となっている。なぜ上流と下流の状況が違うのか分からないが、ぜひ見ていただき参考にしてほしい。

口田議員：旭山地域は私が案内する。

安田議員：上羽帯の少年自然の家の辺りがすごい状況となっている。

加来議長：他にはあるか。

(なしの声あり)

加来議長：今挙げていただいたところは可能であれば回りたいと思う。順路は事務局に任せていただきたい。入れないところもあると思う。災害の復旧に当たっている人もいるので、邪魔にならないように行動いただきたい。これから災害現場の視察をするので、よろしく願います。

【休憩 9 : 1 0】

台風の被害状況視察【役場発9：20～役場着14：25】
(視察の行程は下記のとおり)

【再開 14：39】

加来議長：大変お疲れ様です。詳細には回れなかったが、大きく災害に遭われたところを中心に、一日かけて視察をさせていただいた。今後、町の再生のために、議会の立場、議員の立場で、町と一緒に町民の方に応えていかなければならないと思うので参考にさせていただきたい。

今日視察を行った中で、皆さんから意見があればお受けしたい。

鈴木議員：視察と直接関係ないが、十勝管内の高校の校長会とPTAで、JRの運休のための代替バスの要請の取り組みを行っている。清水高校には帯広市などの町外から168人がJRで来ているし、清水町から帯広市にJRで通っている生徒もいる。通学の足が失われているということで、教育委員会を通じて、災害対策本部に言っていただくという形をとっている。もし何か皆さんにご協力いただきたいところがあれば会議等でお話したいと思う。

原議員：今回の災害を受けて、本町に災害対策本部が既に立ち上がっているが、それはそれぞれの組織の長を入れてつくっているのか、わかる範囲で教えていただきたい。

佐藤局長：災害対策本部の本部長である町長の権限ですべて動いていると思う。当然関係機関の応援をいただいているが、災害の場合はその権限で動けると思う。

加来議長：関係機関には、町長権限で要請して動いていると思う。

他に何かあるか

(なしの声あり)

加来議長：今日はこれで終了する。これから町民の方からいろいろな意見が出てくると思う。間違ったことは教えてはいけないが、我々で解決できることはしていきたい。お互いに協力しながら、町の再生につなげていきたいのでよろしく願います。また何かあれば、集まっていただきたいので願います。今日は大変ご苦労さまです。